

感染症の「登園の目安」

病名を確認し、【登園届】または【登園許可証】のご提出をお願いします。

【登園届】

感染症名	感染しやすい期間	登園の目安
溶連菌感染症	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後1日間	抗菌薬内服後24～48時間経過していること
マイコプラズマ肺炎	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間	発熱や激しい咳が治まっていること
手足口病	手足や口腔内に水疱、潰瘍が発生した数日間	発熱や口腔内の水疱、潰瘍の影響がなく、普段の食事が摂れること 解熱して24時間経過してから
感染症紅斑 (リンゴ病)	発疹出現前の1週間	全身症状が良い事
ウイルス性胃腸炎 (ノロ・ロタ・アデノウイルス等)	症状のある間と、症状消失1週間 (量は減少していくが数週間ウイルスを排出しているので注意が必要)	嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事が摂れること
ヘルパンギーナ	急性期の数日間(便の中に1ヶ月程度ウイルスを排泄しているので注意が必要)	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
RSウイルス感染症	呼吸症状のある間	呼吸症状が消失し、全身症状が良いこと
带状疱疹	水疱を形成している間	すべての発疹が痂皮化してから
突発性発疹	—	解熱し、機嫌がよく全身症状が良いこと

* 感染しやすい期間を明確に提示できない感染症については(—)としている。

* 第3種の感染症・・・病状により医師において感染・伝染のおそれがないと認めるまで。

【登園許可証】医師が記入した意見書が必要な感染症

感染症名	感染しやすい期間	登園の目安
麻疹(はしか)	発症1日前から、発しん出現後の4日後まで	解熱後3日を経過してから
風しん	発しん出現の前7日間くらい	発しんがすべて焼失してから
水疱 (水ぼうそう)	発疹出現1～2日前から痂皮形成まで	すべての発しんが痂皮化してから
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	発症3日前から耳下腺腫脹後4日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから5日を経過するまで、かつ全身状態が良好になるまで
結核	—	医師により感染の恐れがないと認めるまで
咽頭結膜熱 (プール熱)	発熱、充血等症状が出現した数日間	主な症状が消え2日経過してから
流行性角結膜炎	充血、目やに等症状が出現した数日間	感染力が非常に強いいため結膜炎の症状が消失してから
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで	特有の咳が消失するまで又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで
腸管出血性大腸菌感染症 (O157,O26,O11等)	—	症状が治まり、かつ、抗菌薬による治療が終了し、48時間を空けて連続2回の細菌検査(検便)によっていずれも菌陰性が確認されたもの
急性出血性角膜炎	ウイルスが呼吸器から1～2週間、便から数週間～数か月排出される	医師により感染の恐れがないと認めるまで
髄膜炎菌性髄膜炎	—	医師により感染の恐れがないと認めるまで

※感染しやすい期間を明確に提示できない感染症については(-)としている。

※「急性出血性角膜炎」は行政からの指導をもとにしています。